学校番号	１０１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅲの授業では、これまでの学習を活かし、さらに発展した表現方法の習得に取り組んでください。（漢字、仮名、漢字仮名まじりの書など）
　そして、書を楽しみ、表現を創意工夫しながら、書を愛好する心情を育んでほしいと思います。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通じて、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）　書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
（２）　書表現の諸要素を感受し、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
（３）　創意工夫を活かした書表現をするために書の表現の技能を身に付け、書を通じて創造的な表現活動に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の歴史、表現の方法や形式、多様性について理解している。【知】 ・篆刻を理解している。【知】 ・創意工夫を活かした書表現を身に付け、効果的に創作で表現している。【技】	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づき構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。【思】【判】【表】	・主体的に書の活動に取り組み、表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。 ・相互鑑賞などの参加型学習に積極的な姿勢で取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	篆書	a:篆書の特徴、変遷について理解している。 書体や書風に応じた用筆・運筆の技法を理解している。 b:篆書の古典の特徴を確認し書体や書風に応じて用筆や運筆を工夫している。 c:篆書に関心を持ち、主体的に作品制作に取り組もうとしている。	授業プリント 作品	プリント 観察	振り返りプリント 観察
		篆刻	a:基本的な篆刻の技法・手順を理解している。 b:自己の感興や意図に応じて選文し、表現について創意工夫している。 c:篆刻の特徴を理解し、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	授業プリント 作品	プリント 作文 観察	振り返りプリント 授業記録 観察
2学期	漢字の書	草書	a:草書の特徴を理解し、書体や書風に応じた用筆や運筆の技法について理解している。 b:草書の古典の臨書活動を通じて、習得した技法を使い工夫している。 c:草書の表現方法を理解し、主体的に学習活動に取り組んでいる。	授業プリント 作品	プリント 観察	授業記録 観察

		創作	a:草書の古典の特徴を理解し、用筆や運筆を理解している。 b:自己の意図に応じて選文し、草書の古典の特徴を活かした表現方法に応じて、全体を構成し工夫している。 c:他者の作品を鑑賞し、その美や表現方法について積極的に話し合おうとしている。	授業プリント 作品	観察 授業プリント	観察 授業記録
2学期	漢字仮名交じりの書	漢字と仮名の古典を生かした表現	a:漢字と仮名の古典それぞれの特徴を理解し、それに応じた表現を用具・用材について理解している。 b:漢字と仮名の古典それぞれの特徴を活かした表現を工夫している。 ｃ:漢字と仮名の古典それぞれに関心を持ち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。	授業プリント 作品	観察 授業プリント	観察 授業記録
3学期	仮名の書	仮名の美の展開	a:仮名の古典の特徴を理解し、書風に応じた用筆や運筆の技法について理解しようとしている。 b:仮名の美の特徴を理解し、その表現効果や美しさを感じ取っている。 c:仮名の作品に関心を持ち、主体的に鑑賞の学習に取り組んでいる。	授業プリント 作品	観察 授業プリント	観察 授業記録
		創作	a:仮名の古典の用筆や運筆を理解している。 b:自己の感興に応じた詩文を選び、仮名古典の特徴を生かした表現について構想し工夫している。 c:自己の作品や他者の作品を鑑賞し、仮名の美を理解しようとしている。主体的に鑑賞の学習に取り組んでいる。	授業プリント 作品	観察 授業プリント	観察 授業記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度